

(公開学習Ⅱ)

第2学年2組 体育科学習指導案

授業者 田中 和幸
体育館

1 単元名 ぼうけん！ふぞくじま（多様な動きをつくる運動遊び）

2 授業構成

(1) 教材に対する反省と新しい提案

本単元は、新学習指導要領第1・2学年の目標に次のように位置づけられている。

A 体づくり運動

- (1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようにする。
 - イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとったり移動をしたりするとともに、用具の操作などをする。
- (2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
- (3) 体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。

体づくり運動は、心と体の変化に気付くこと、体の調子を整えること、仲間と交流することなどの体をほぐしたり、体力を高めたりするために行われる運動である。低学年の発達段階を考えると直接体力を高めることを学習の目的とすることは難しいが、将来の体力向上につなげていくためには、この時期に様々な体の基本的な動きを培っておくことが重要である。そのためにも、より多くの幅広い運動を経験させることが大切であると考えられる。また、自己の力を試したり、競争したりして楽しむことができる運動領域でもあるので、児童が主体的に取り組むことができる種目設定が必要とされる。

本単元では、「体のバランスをとる運動遊び」「体を移動する運動遊び」「用具を操作する運動遊び」「力試しの運動遊び」の4つの観点を取り上げ、多様な動きを身につけることをねらっている。そして、自分なりのめあてをもって取り組んだり、運動遊びの楽しさや喜びを感じ、進んで体を動かそうとしたりする意欲を育てたい。

(2) 子どもの学びの実態・期待する学び方

本校では、研究テーマ「子どもたちが確かに思考を高める学び合い」をもとに、日々の授業実践に取り組んでいる。その中でも、体育科テーマ「豊かなかわりと思考を高める学び合いのある体育科学習をめざして」を受けて、それぞれの単元で育てていきたい資質・能力をより具体的にしながら学習を進めてきている。

本学級の児童は活発で身体を動かすことが好きな児童が多く、休憩時間には多くの児童が遊具遊びやおにごっこなどを楽しんでいる。体育科学習についても、熱心に取り組んでおり、体育の時間をいつも楽しみにしている児童が多い。どの子もきまりを守ってがんばろうとする姿が見られるが、経験や体験の違いが技能の差に現

れているように思われる。

体育科の学習については、アンケート調査で好きと答えた児童が37名もあり、「できなかったことができるようになって嬉しい」「追いかけたり逃げたりするのが楽しい」「みんなでできるから好き」等、運動本来の楽しさだけでなく、記録に挑戦したり、友達との関わり合いを楽しんでいる児童が多く見られる。

そこで本単元では、個々の力に合わせて、自分の力で挑戦していくような場の工夫、スモールステップの指導の工夫をすることで、主体的に学習に取り組んでいけるようにしたい。そして、友達と一緒に教え合ったり認め合ったりしながら、協力して活動することの楽しさや喜びを感じさせていきたい。

（３）本時の学習に向けての教材研究

本時の学習では、前時の学習でうまくいかなかった動きを見直し、よりうまくいくように動きのポイントを考え、練習を通してできるようにしていきたい。うまくいかない場合は、その原因をチームで考え、自分たちの力で調整できるようにしていきたい。また、友達とのコミュニケーションの力をさらに高めるため、うまくいったときの言葉かけや失敗したときの励ましの声やアドバイスなど、積極的に声をかけ合いながら活動を行うようにしていきたい。

そして、学習のまとめとして、自分自身のめあてが達成できたり、自分たちの動きがうまくいったかを振り返る時間を確保し、次時のめあてを明確にしたり、さらなる意欲づけを図ったりしていきたい。

また、活動の中で友達の動きに目が向くように、教師が働きかけることで友達のよさに気づき、互いに認め合いながら活動する楽しさを味わうことができるように支援していきたい。

3 単元の目標

- ・運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。（態度）
- ・体づくりのための簡単な運動の行い方を工夫できるようにする。（思考・判断）
- ・多様な動きができるようにする。（技能）

4 単元計画（全10時間）

1	2・3・4・5	6・7・8（本時）・9・10
オリエンテーション ○学習のねらいを知り、単元の見通しをもつ。 ○きまり、学習の場、安全面について知る。 ○きまりを守って動	○きまりを守って動きをつくる遊びをする。 「体のバランスをとる運動遊び」 ・バランスあそび（うでを組んで、せ中で） 「体を移動する運動遊び」 ・へんしんあそび（わに、あ	○きまりを守って、友達と一緒に動きをつくる遊びをする。 「体のバランスをとる運動遊び」 ・バランスくずしあそび（立って、しゃがんで、グループで）

きをつくる遊びをする。	ひるくま，うさぎ） ・ジャンプあそび（手をたたいて，回てんして） 「用具を操作する運動遊び」 ・ボールあそび（手をたたいて，しゃがんで，ジャンプして，かた手で，走りながら，1回手をつけて） ・わあそび（おいかけて，もどってくるようになげて，こしで回して） ・なわあそび（前回しとび，けんけんとび，あやとび，後ろ回しとび，回せんとび，くぐりぬけ） 「力試しの運動遊び」 ・力だめしあそび（うで立てじゃんけん，うで立て回り，かえるの足うち，かえるのさか立ち）	「体を移動する運動遊び」 ・しんかじゃんけんあそび（わに，あざらし，うさぎ，カンガルー，人間） 「用具を操作する運動遊び」 ・ボールあそび（りょう手で，かた手で，ジャンプして，しゃがんで） ・わあそび（ころがし合って，なげ合って，くぐって） ・なわあそび（サイドクロスとび，交さとび，回せんとび） 「力試しの運動遊び」 ・力だめしあそび（回って，グーパーとびで，ハイタッチとびで，すもう） ・おんぶリレー ○新しい遊びや記録に挑戦する。
--------------------	--	---

5 本時の学習について

（１）本時の目標

- 体づくり運動の行い方を工夫し，友達と協力して楽しく多様な動きを身につけることができる。

（２）期待される児童の様相

- A 体づくりのための運動の行い方を工夫し，友達と協力して楽しく多様な動きを身につけることができる。
- B 友達と協力して，楽しく多様な動きを身につけることができる。
- C 友達と協力して，楽しく多様な動きに慣れる。

(3) 本時の展開 (○教師の意図 ◇全体への支援 ◆個への支援 ●評価)

学習活動	教師の支援・意図	評価
1 基本的な体 つくり運動を 行う。	○次の活動につながる基本の動きを準備運動として取り入れる。	
2 学習の進め 方を確認する。	◇本時のめあてを確認し、これまでの学習で気づいたことをもとに動きを確認するように声かけをする。	
友だちとなかよくうごきをつくるあそびをしよう。		
3 友達と多様 な動きをつく る運動遊びを する。	「体のバランスをとる運動遊び」 ・平均台じゃんけん 「体を移動する運動遊び」 ・カードめくり 「用具を操作する運動遊び」 ・新聞紙やり投げ 「力試しの運動遊び」 ・ターザン綱渡り ◇◆平均台じゃんけんでは、急ぐあまりけがをしないように、平均台から落ちた場合は最初からやり直すことを事前に伝えておく。また平均台が不得意な児童は手について進んでもいいことを知らせ、自分のペースでできるようにする。 ◇◆カードめくりでは、動きが小さくならないようにたくさんのカードと広い場所を準備する。それでもすばやい動きでカードをめくられるようにするためにはどのような姿勢がいいか考えさせる。 ◇◆新聞紙やり投げでは、目標物を置くことで、記録の目安や周りの友だちの方にそれたりしないようにしたい。投げる際には、体重移動や腰の回転などを意識できるように声かけをする。 ◇◆ターザン綱渡りでは、綱を腕だけでなく、身体全体で支えられるようにしたい。そのために得意な児童を見本にし、視覚的にも捉えられるようにしたい。	●友達と協力して多様な動きを身につけることができたか。 ●声をかけ合ったり、具体的なアドバイスや賞賛をしたりしながらチームの仲間と協力して楽しく活動することができたか。

4 本時の学習を振り返る。	○時間の見通しをもたせ、意欲を高めるために音楽を活用する。 ◇チームでお互いのよかったところを発表し合うことで、友だちと認め合えるようにする。 ◆意欲的に取り組んだり、動きを工夫したりしている児童やチームを賞賛し、意欲を高める。 ◆うまくいかないチームには、うまくいった児童の気づきを紹介させたり、動き方のポイントについてアドバイスしたりする。 ◇友達のがんばりや動きの工夫について発表し合い、本時に見つけた友達の取り組みの様子について全体の場で紹介し、認め合う。	●友達のがんばりや動きの工夫を進んで見つけることができたか。
----------------------	---	---------------------------------------

6 場の設定

